

7月 3年間、お世話になりました
22日 ALT ケリーさんが退任



▲JET 絆大使の任命書を受け取り笑顔で写るケリーさん(写真左)

外国青年招致事業 (JET プログラム) により、菰野町で外国語指導助手 (ALT) を務めたバン・ロイ・ケリーさんが退任しました。ケリーさんは JET 絆大使に任命され、今後も日本と母国であるアメリカ合衆国との友好関係の強化に携わる予定です。退任に際しケリーさんは「これからはロンドンの大学で政治学と人権を学びます。日本での経験を踏まえて、頑張ってきます」とこれからの抱負を語りました。

8月 企業と連携して更なる健康増進を図る
3日 健康増進に関する連携協定



▲協定書を手にする福谷支社長(写真右)と町長

明 治安田生命保険相互会社と町との健康増進に関する連携協定締結式を役場本庁で行いました。この協定は、町が策定した「健康増進計画・食育推進計画」に基づき、今後、健康に関するセミナーなどを共同で開催することを目的とするものです。締結式で町長は「健康であることが最も大切です。企業の協力は大変有難いです」と感謝の思いを伝えました。締結式では、感染症拡大防止のために募った「私の地元応援募金」の目録贈呈式も行われ、312,600 円が寄付されました。

8月 三重県と菰野町が連携して歩むために
6日 知事と町長が1対1対談



▲鈴木知事(写真左)と対談する町長

三重県知事が各市町へ出向いて、首長と対談する1対1対談が役場本庁で開催されました。対談では、町長がこれまでの県の感染症対策を評価しつつ、県として動画配信などを利用してさらに感染症の拡大防止の啓発に力を入れていかなければいけないことや、今後の経済対策や事業者への支援について意見が交わされました。

8月 町のB&Gセンター・インストラクターが指導
7・12・17日 カヌー教室を実施



▲パドルの使い方を教わる参加者

B & G 海洋センター小島艇庫でカヌー教室が実施されました。参加した約10人の小学生は、カヌーの乗り方から前にまっすぐ進む方法、後ろに下がる方法まで楽しそうに教わっていました。

8月 敬老の日に合わせて長寿を祝う
19日 満100歳を祝い表敬訪問



▲表彰状を受け取り、記念撮影に写る宇佐美さん(写真右)

満 100歳を迎えた宇佐美定男さんを町長が表敬訪問し、長寿を祝いました。宇佐美さんは永井区で生まれ、農業を営んでいました。表敬訪問で町長から長寿の秘訣を尋ねられると、「怒らないように生活し、いろいろなことに感謝することです」と答え、日々の温厚な生活を振り返りました。

問い合わせ
四日市西警察署 ☎ 394-0110

警察安全相談電話
9110

110番通報するような内容ではないけれど…
そんなときは
#9110
に相談!

「110」番は事件、事故等の緊急通報のための電話です。緊急でない要件が「110」番に寄せられると、緊急通報への対応が遅れることもあります。

急 ではない相談・要望など
警察安全相談電話 #9110
警察安全相談電話の受付時間
月～金 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)
下 記でも受け付けています
四日市西警察署
最寄りの交番、各駐在所



西警便り nishikei dayori

CAUTION
死亡事故多発

秋の
全国交通安全運動

運動期間
9/21(月)～9/30(水)
交通事故は、朝夕の時間帯に多く、歩行者横断中の事故も多発しています。思いやりと譲り合いの心で余裕を持った安全運転をお願いします。

- FOCUS POINT 01 歩行者の安全利用の確保
自転車の安全利用の確保
- FOCUS POINT 02 高齢運転者等の安全運転の励行
- FOCUS POINT 03 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
飲酒運転等の危険運転防止

町長のひとり語り

The Story of our Mayor



私が大学進学を機に平成3年に菰野町を出たときから、菰野町の公共交通は大きく変わりました。平成3年までは三重交通バスが走り、保育園への通園に私も使っていました。無人駅は大羽根園駅だけだったように思います。そして、現在はほとんどの交通事業者がタクシーやバス事業から撤退し、湯の山温泉駅以外の町内の駅は全て無人駅となっています。平成3年から人口が1万人は増えているにもかかわらず…です。この原因は、自家用車が一家に一台から一人一台になったことと無縁ではないように思えます。

Theme 18 地域でつくる公共交通

いるように感じます。私自身も、りあいタクシーで出かけ、コミュニティバスで帰ってくる利用法を実践してみましたが、特に不便なことを感じることもなく、安価な金額で満足することができました。皆さんも一度利用していただくと、自家用車がなくても町内を移動できることや現状の公共交通を乗り継ぐ際の課題などが見えてくるかもしれません。まずは、利用いただいで、さらに便利な公共交通とするために地域で作り上げていくことが大切になってきます。

今月号の特集でも紹介しましたが、今後も公共交通がより充実するよう菰野町も頑張りますので、皆さんも積極的な公共交通の利用をお願いします。使えばもっと便利になります!